

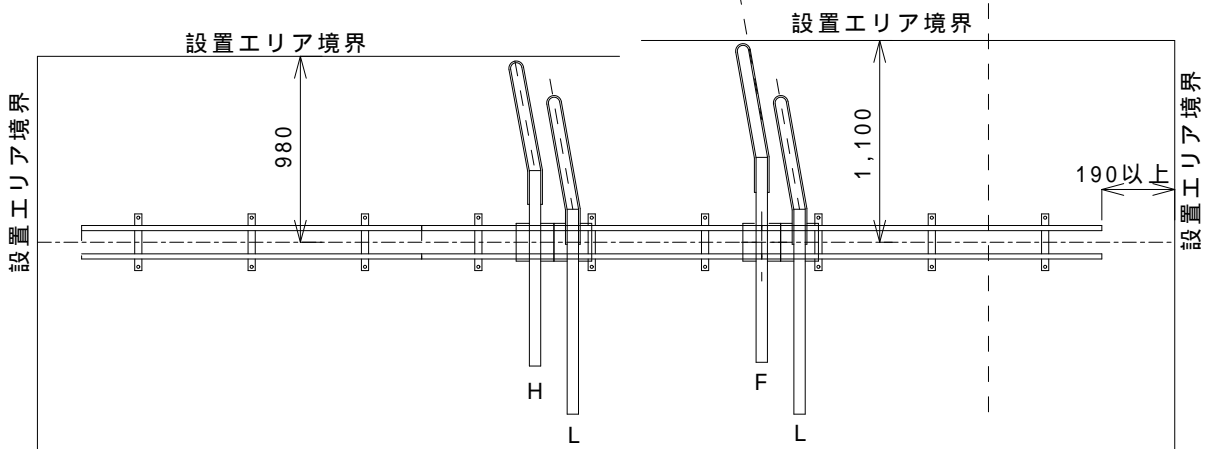
(3) 位置の確認

レールを裏返し(元通り)、設置エリア境界からの位置を確認しながら正確に配置します。

目立たないケガキ、水系を使うと便利です。

ユニットを実際に入れてみて、壁や障害物との隙間が十分(20mm以上)あるか、確認してください。

ユニット挿入のため、左右どちらか(右が望ましい)に190mm以上のスペースを確保しておいて下さい。



(4) アンカー穴あけ

レールのアンカー穴をゲージとし、安全に注意しながらボルト穴をあけて下さい。

掃除機があれば、粉塵を吸い込みながら作業すると良いでしょう。

適宜、アンカーボルトを挿入し、振動によるずれを防ぎます。

使用コンクリートドリル 10.5 深さ60mm以上

(5) レベル調整

レールに荷重をかけた状態でレベルを確認して下さい。

レベル調整ライナーを使って、左右方向の水平を出します。

前後方向も水平が基本ですが、床勾配とラックとの位置関係で、多少調整して下さい。

床勾配により、25mm以上ライナーを挿入しなければならない時は、アンカーボルトを長いものと交換します。(基本セットでは、L=60のボルトのみです。長さ不足が予想される場合は、事前にご相談下さい)

(6) アンカーボルト固定

平座金、ナットをボルトにセットし、ネジが2山程度出た状態で穴に挿入します。

3ポンド以上のハンマーで、突出部が完全に沈み込むまで叩き込んで下さい。後、スパナ等(17mm)で締付けて下さい。

4. 駐輪ユニット挿入

(1) 平面配置図と照合しながら順番に挿入していきます。

(2) 図面上「H」はハイタイプ、「L」はロータイプ

(3) 挿入後、ユニットの動きを確認します。

静止状態で、自然に動き出さないこと。

動かすときは、指1本で軽く動くこと。

アンカーの締付け具合やライナーの挿入の仕方によっては、歪が生じる場合があります。動きに問題があれば、微調整を行って下さい。

(イ) 自然に動き出すときは、水平が出ていません。ライナーで際調整して下さい。この時、アンカーボルトに差し込んでのライナー挿入はできないので、追加はボルトを避けて行います。

